氷川町長
藤本　一臣

住民生活の安寧をめざして

あけましておめでとうございます。

皆様には、ご家族お揃いで希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より町政運営ならびに地区づくり活動に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、W杯サッカーカタール大会での日本代表の躍動や、大谷翔平選手の二年連続の活躍など、夢と希望のある出来事があった反面、ロシアのウクライナ侵攻、北海道網走市沖における観光船事故や日本列島を縦断した台風十四号をはじめ、豪雨・地震による自然災害も多く発生し、尊い命と貴重な財産が奪われましたが、氷川町においては自然災害が少なく、比較的穏やかな年であったと感じています。

新型コロナウイルス感染症については新規感染者数が増減を繰り返し、地域経済や日常生活に様々な影響を及ぼし、深刻な事態が続いていますので、皆様には、ワクチン接種の励行と「自分を守り、周りの大切な人を守る行動」を引き続き徹底して頂きますようお願いいたします。

本町においても、自治体DX(デジタル・トランスフォーメーション)の一環として、行政手続きのオンライン化やペーパーレス化による利便性の向上をめざして環境整備を進めておりますが、その基本になるマイナンバーカードの取得率が未だ約五十%の状況でありますので、取得を推進してまいります。

本年四月には、「こども家庭庁」が創設され、包括的な行政支援が始まりますので、国・県と呼応して次代を担う子どもたちを安心して産み育てる環境を醸成してまいります。

皆様のご協力によりごみ減量化が進んでおりますが、八代市との共同処理開始まで一年三ヵ月となり、スムーズな移行と財政負担の軽減をめざして、さらなる減量化を推進しておりますので、生ごみの減量化と資源ごみリサイクル分別収集へのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染拡大や物価高騰により、厳しい日常生活が続いている今こそ、行政の果たす役割が重要であることを自覚し、住民生活の安寧をめざして積極果敢に取り組んでまいります。

これからも町民の皆様と連携し、『小さな町で、大きな幸せを感じる持続可能な田園都市・氷川』の創生に向け、その先導役として全身全霊を傾注してまいりますので、ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとりまして、また氷川町にとりましても平穏で最良の年になりますことをご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

氷川町議会議長
米村　洋

あけましておめでとうございます

町民の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年を迎えられたことと、心からお慶び申し上げますとともに、日頃から議会活動に対しまして、温かいご指導とご理解を賜り、議員一同深く感謝とお礼を申し上げます。

議員は、住民全体の代表者であり奉仕者であるということを肝に銘じ、また、議員間のコミュニケーションをとり議会運営を行ってまいります。

改選後、議長に就任しまして一年が過ぎました。

各種行事や会議などできるだけ出席を心がけておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止や案内の自粛など、これまでの日常生活にまだ戻っておりません。今年こそは、平穏な年になることを願っております。

国は、今年四月から、どんな子どもも取りこぼさない、子どもが真ん中にいる社会を目指した「こども家庭庁」を発足します。あすを担う子どもは氷川町の宝物です。

議会といたしまして、子どもを生み育てる環境づくりに力を入れ、行政と連携して取り組んでまいります。また、令和三年九月に「デジタル庁」が設立され、デジタル社会に向けた取り組みが本格化してきておりますので、本町のDX推進に向けて支援していきたいと思います。

今年も、物価高騰や新型コロナウイルス感染対策など多くの課題を抱えておりますが、二元代表制の一翼を担う議会として、より豊かな住みよいまちづくりを目指して、町民の皆さま方の期待に応えることができるよう、決意を新たにしておりますので、どうか相変わらぬご支援・ご協力を賜り、氷川町のさらなる発展と町民の皆様のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

本年もよろしくお願いします

氷川町議会議員

片山　裕治	松田　達之	上田　健一	
三浦　賢治	上田　俊孝	吉川　義雄	
長尾　憲二郎	清田　一敏	木下　厚	
西尾　正剛	飯田　健二		